

日本学術会議 物理学委員会 天文学・宇宙物理学/IAU分科会 報告

分科会開催：令和2年1月27日、5月8日、8月20日

報告者：深川美里
(日本学術会議連携会員)



IAU 分科会報告

■ IAU新会員登録、募集について

- レギュラーメンバー:1月の分科会でレギュラーメンバー 7名、ジュニアメンバー 4名の推薦を承認し、その後、辞退の1名を除きIAUに推薦した。
- 国費が使用されていることを背景に、inactive memberへの対応等について明確化を図る。
- 分科会は引き続き、IAUへの新会員の推薦で役割を果たす。
 - レギュラー会員・ジュニア会員は**毎年募集**
 - **名誉会員**の推薦

■ PhD Prize

- 前年12月16日以降に学位を授与された論文を対象とし、12月15日締切で、常時、応募を受け付けている。**積極的に応募を！**

https://www.iau.org/science/grants_prizes/phd_prize/



IAU 分科会報告

- IAUシンポジウム 358: Astronomy for Equity, Diversity and Inclusion — a roadmap to action within the framework of the IAU 100th Anniversary の報告
 - 2019年11月12~15日、国立天文台三鷹、31カ国124名が参加
 - このテーマのシンポジウムは初めて、IAU会長も全日参加
 - 基調講演4件、口頭講演57件、ポスター講演37件、有志による議論4件、「三鷹決議 (Mitaka Resolutions)」に関する特別セッション2件
 - よりインクルーシブな環境を実現するための工夫
- IAUシンポジウム等の状況について (COVID-19の影響)
 - IAUシンポジウム360 (開催地: 広島)をはじめ、国際学会が中止・延期またはオンライン開催へ移行している。
 - 2021年開催のシンポジウムの審査では、総会に関係する提案のみ (7つのシンポジウムおよび11のフォーカス・ミーティング) が選ばれた。<https://www.iau.org/news/announcements/detail/ann20025/>



IAU 分科会報告

■ APRIM2023 準備状況

- 国際天文学連合アジアパシフィック地域会議 (APRIM2023) (開催場所候補: 福島県郡山市のビッグパレット福島) の招致が1月27日の分科会で承認された。APRIM2020が中止となったが、開催地選考の新たなプロセスが決定し次第、対応する。

■ IAU OAEに関する国内グループの立ち上げについて

- Office of Astronomy for Education (OAE) について、公募により、ドイツ・ハイデルベルクにあるastronomy outreach centre “Haus der Astronomie (HdA)” がホストすることが11月末に決まった。
- 教育関係の人的ネットワークを構築すべく、各国に窓口となる担当者 National Astronomy Education Coordinator (NAEC) を置くこととなった。和歌山大学・富田晃彦氏がNAECとなり、国内ワーキンググループを立ち上げるなど、活発に活動している。



IAU 分科会報告

- 商用宇宙空間利用に伴う光害の天文学への影響
 - Starlink衛星等による影響に関し、有志による検証の状況や今後の国内外の活動について情報を共有した。次期は天文学宇宙物理学分科会と協力し、必要な場合には対策提言などの活動を行う。
- IAU出版物
 - “Big Ideas in Astronomy” 「ビッグアイデアー天文学の主要概念」の日本語版が日本天文教育普及研究会会員有志により完成した。
https://tenkyo.net/information/notification/big_ideas2020/
 - (参考)「IAU戦略計画2020-2030」日本語版
https://tenkyo.net/information/notification/iau_strategic_2019_jp/
- 次期も引き続き、IAUシンポジウム等をはじめとする各種活動への積極的参加、参加の奨励を行う
 - 天文学会と協力し、**IAU総会の日本開催**を目指して活動を行いたい。⁵